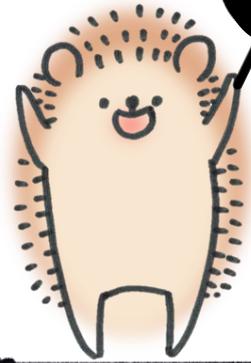


ヤンちゃん通信

2023.7
No.23

ある特定の物ごとにどっぷりとはまり、抜け出せなくなってしまうことを「沼にはまる」といいます。今回はそんな「〇〇沼」な本をご紹介します！ハマりすぎにはご注意ください…。



『コケ見つけ!日本全国もふもふコケめぐり』

藤井久子／家の光協会／475 ㍻

コケを求めて各地を歩き、旅する「コケめぐり」。街中や郊外など身近にあるコケスポットなどを紹介。読んだらあなたもコケ“沼”から抜け出せなくなるかも!?

『世界の廃墟』

佐藤健寿／飛鳥新社／290 ㍻

北朝鮮の柳京ホテル、イギリスのレッド・サンズ要塞、南極のスコット隊の小屋、日本の大久野島…。世界の名だたる廃墟の写真を収録しています。あなたも廃墟特有のあの雰囲気味わってみませんか?

『ミュージアムを知ろう』

横山佐紀／ペリかん社／069 ㍻

ミュージアムをより深く知ることで広がる、鑑賞だけではない新しい学びかた、楽しみ方を伝える本。ミュージアムのはじまりや展示する空間、社会とのかかわりなどについて紹介する。

沼にはまる本

『猫の教科書』

CAMP NYAN TOKYO／ナツメ社／645 ㍻

冷たくされても、驚かされても、ふしぎと憎めない猫。猫の気持ちを知れば知るほど愛という沼にはまっていく。猫好きな人へ推す一冊です!!



『世にも美しき数学者たちの日常』

二宮敦人／幻冬舎／410 ㍻

「紙とペンさえあれば何時間でも数式を書いて過ごせる」「味噌汁も数学のテーマになる」「楽しみは”写経”ならぬ”写数式”」…。数学の沼にハマってしまった数学者と数学マニアを通して未知なる世界へご招待!



『はじめてのガラスペン』

武田健／実務教育出版／589 ㍻

ガラスペンとはその名の通りガラスでできたペンのこと。キラキラした美しいガラスのペン先に、好きな色のインクをつけて文字や絵を書くことができます。不思議な文房具の魅力にハマってみませんか?